



## イケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

### 第 567 回 漢字を学ぶだけで幸せになれる！～漢字セラピー

2014.3.9

漢字セラピストという人がいる。文字通り、漢字をセラピー(治療、療法)する人で、例えばこんな調子だ。…「心」を「受け入れる」と書いて「愛」。「成長」という字は「長所」に「成る」と書く。「想う」というのは「相手」の「心」と書く。「鮭」というのは「魚」が「旨い」と書く…

漢字を自由に見ることにより、おもしろいことに、漢字を学ぶだけで幸せになれると言う。とりわけ新潟県出身の「ひすいこたろう」氏は、作家、コピーライターでもあり、多くの著作を残している、漢字セラピストの代表的存在と言っても良い。

今回はこの「ひすい氏」の作を中心に、「幸せになる法則」のご紹介コラムである。

「耳」からはいつてくる他人の評価が、自分の「心」になってしまうのが「恥」。

自分をありのまま「公」にすれば「聡」明に生きられる。

僕らは真っ「白」な状態で生まれます。辛いこと、悲しいこと、嬉しいこと、いろんな経験を重ねることで「羽」が生えてきます。それが「習う」とう字。

これから先どんなちっぽけなえもことでも、体験したことのすべてはあなたの羽の一部になる。そしてあなたの「羽」は たくさんの「異なる」人と会うことで「翼」に変わっていく。

「辛」いに「一」を足すと「幸せ」になる。「幸せ」の土台は「辛い」、そして「辛い」という字は「+」の上に「立っている」。辛いから幸せになれる。

漢字はそう教えてくれている。

「始まる」って文字、「女」が「土台」って書く。女性が笑顔でいることから始まる意味だ。だから「嬉しい」って「女」が「喜」って書く。女性が笑顔でいるところに、嬉しいことはやってくる。

「決断」とは、「決めて」「断つこと」。何かを決めるときには、ひとつ何かを断ち切る。すると新しいものが手に入る。「大切」って「切る」って字が入っている。執着を「切ったとき」に、「大きなもの」が手に入る。

「光る言葉」と書いて、「誉める」。誉めてあげると、相手は最高の笑顔で輝く。

誰でも口からプラスの事もマイナスの事も吐く。だから「吐」という字は口に+-で出来ている。マイナスのことを言わなくなると口から-が消えて「叶」という字になる。

まだまだたくさんあるようだ。興味のある方は、是非夢中になること、お奨めしたい。

参考:「ひすいこたろう氏」ブログ <http://profile.amebajp/hisuikotarou/>

『思わず涙する感動秘話』 <https://www.facebook.com/kandouhiwa>